産業建設常任委員会委員長報告

(平成29年12月22日)

産業建設常任委員会に付託されました議案について、審査の経過概要とその結果を報告いたします。

まず、**第1号議案、平成29年度一般会計補正予算**の本委員会所管分ではありますが、その主な内容は、

- ・総務費では、地域公共交通会議の開催に伴うバス交通関連経費の増額補正。
- ・農林水産業費では、有害鳥獣の捕獲頭数増加に伴う鳥獣対策事業経費の増額補正。
- ・商工費では、先の台風21号により必要となった保津川溪谷付近及びその支流の清掃活動等に係る経費として、観光地環境施設整備経費の増額補正。
- ・土木費では、住宅セーフティネットとしての市営住宅の適切な維持管理を実施するための修繕経費として、住宅管理経費の増額補正。
- ・災害復旧費では、先の台風21号により被害を受けた道路及び公園施設の復旧事業費の増額補正であります。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第3号議案、平成29年度地域下水道事業特別会計補正予算**については、施設維持管理経費に係る債務負担行為の設定であり、別段異論なく、採決の結果は全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第5号議案、平成29年度上水道事業会計補正予算**については、施設管理等の経費に係る債務負担行為の設定であり、別段異論なく、採決の結果は全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第6号議案、平成29年度下水道事業会計補正予算**については、年谷浄化センターの汚泥運搬の経費等に係る債務負担行為の設定であり、別段異論なく、採決の結果は全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第11号議案、市営住宅管理条例の一部改正**については、公営住宅法の一部改正に伴い、入居者である認知症患者等の収入申告義務を緩和すること等の改正をするものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第12号議案、簡易水道事業を水道事業に統合することに伴う関係条例の整備に関する条例の制定**については、簡易水道事業特別会計と上水道事業会計を水道事業会計として統合すること、また、統合に伴い分担金の徴収規定を整備すること等を定めるものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第 13号議案、上下水道事業の設置等に関する条例の制定**については、水道事業への統合に伴い、地方公営企業法に基づく関係条例を統合するとともに、水道事業の経営の基本となる給水区域、給水人口等を定め、飲料水供給施設を水道事業の附帯事業とし地方公営企業法を適用すること等を定めるものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第 14号議案、水道事業給水条例の制定**については、水道事業への統合及び社会情勢を踏まえた制度内容への見直しのため、上水道事業給水条例を全部改正するものであり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、

第 18号議案、平成 29年度上水道事業会計補正予算、

第 19号議案、平成 29年度下水道事業会計補正予算

の 2 議案については、いずれも人事異動等による減額であり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

以上、簡単ではありますが本委員会の報告といたします。

台風21号・22号の被害からの速やかな復旧と、有害鳥獣への対策を

一般会計補正予算

可決(全員賛成)

・観光地環境施設整備
経費

200万円増額

台風により保津川や支川に漂着したごみなどの早期撤去を行い、観光地にふさわしい景観・環境を取り戻すため、観光協会の観光地環境施設整備事業に対して補助を行うもの。

・現年公共土木施設災害復旧事業費

773万円増額

台風により被災した亀岡運動公園プール休憩テント、大堰川緑地東公園の防護柵・便益施設および市道曾我部西別院線の路肩の復旧工事費を計上するもの。

【主な質疑】

問 市道曾我部西別院線の路肩修繕の完成見

込みは。

答 1月25日に災害査定を受け、それに基

づいて実施設計を行い、府の承認を得ることとなる。その後の着工となるため、年度内の完成は難しい。当該路肩は河川の護岸と兼用であるため、出水期までには完了したい。

意見 早急に対応されたい。

・鳥獣対策事業経費
560万円増額

亀岡猟友会に委託している有害鳥獣の駆除について、捕獲実績に基づき、今後の不足見込み分である280頭分を増額するもの。

【主な質疑】

問 有害鳥獣駆除について、1頭2万円では安いと聞くがどうか。

答 3年前に1万5千

円から増額した。今後、成獣・幼獣ということも考えながら検討していきたい。

簡易水道事業を

上水道事業に統合

簡易水道事業を水道事業に統合することに伴う関係条例の整備に関する条例の制定

ほか2議案

可決(全員賛成)

平成30年4月に簡易水道事業を上水道事業に統合することに伴い、関係条例の改廃などの整備を行うもの。

川東・保津・千歳簡易水道は上水道と接続し、犬甘野・柚原簡易水道は経営のみ統合する。

問 上水道と接続する地域において、災害などで断水した場合の対応は。

答 川東・保津浄水場を予備施設として管理し、緊急時に対応できるようにする。